

設計業務等の電子納品要領 【機械設備工事編】

項目(番号は改定前)	旧		新	
	頁	内容	頁	内容
要領名 年月	表紙	平成23年 6 月 (適用日:平成23年10月1日)	表紙	平成 31 年 3 月 (適用日:平成31年10月1日)
はじめに	表紙裏	本基準においては、国土交通省要領「土木設計業務等の電子納品要領(案)」機械設備工事編(平成 24年 12月)を基本に、管理項目の登録・・・・	表紙裏	本基準においては、国土交通省要領「土木設計業務等の電子納品要領」機械設備工事編(平成 28 年 3 月)を基本に、管理項目の登録・・・・
目次タイトル		設計業務等の電子納品要領(案)【機械設備工事編】		設計業務等の電子納品要領 【機械設備工事編】
1 適用	1	・機械設備の設計以外の測量作業、地質・土質調査および土木設計にかかわる場合は、「設計業務等の電子納品要領(案)【土木編】」によることとする。	1	・機械設備の設計以外の測量作業、地質・土質調査および土木設計にかかわる場合は、「設計業務等の電子納品要領 【土木編】」によることとする。
2 フォルダ構成	2	CAD 製図基準(案) 機械設備工事編 デジタル写真管理情報基準(案) 測量成果電子納品要領(案) 地質・土質調査成果電子納品要領(案)	2	CAD 製図基準 機械設備工事編 デジタル写真管理情報基準 測量成果電子納品要領 地質・土質調査成果電子納品要領
図 2-1	3	CAD 製図基準(案) 機械設備工事編 測量成果電子納品要領(案) 地質・土質調査成果電子納品要領(案)	3	CAD 製図基準 機械設備工事編 測量成果電子納品要領 地質・土質調査成果電子納品要領
3-1 業務管理項目 適用要領基準	4	電子成果品の作成で適用した要領・基準の版(「機械 201212-01」で固定)を記入する。(分野:機械、西暦年:2012、月:12、版:01)	4	電子成果品の作成で適用した要領・基準の版(「機械 201603-01」で固定)を記入する。(分野:機械、西暦年:2016、月:03、版:01)
3-1 業務管理項目 業務実績システムバージョン番号	4	管理項目の記入で参照している TECRIS のマニュアル(コード表)のバージョン(システムのバージョン)を記入する。	4	国土交通省「電子納品に関する要領・基準」Web サイトを参照し記入する。
3-1 業務管理項目 業務実績システム登録番号	4	TECRIS センターが発行する受領書に記載される番号を記入する。TECRIS 登録番号がない業務は、「0」を記入する。	4	コリンズ・テクリスセンターが発行する登録内容確認書に記載される番号を記入する。テクリス登録番号がない業務は、「0」を記入する。
3-1 業務管理項目 住所コード	4	該当地域の住所コードを TECRIS の表より選択し記入する。該当がない場合は「99999」とする。(複数記入可)	4	該当地域の住所コードを記入する。該当がない場合は「99999」とする。(複数記入可)

設計業務等の電子納品要領 【機械設備工事編】

項目(番号は改定前)	旧		新	
	頁	内容	頁	内容
3-1 業務管理項目 測地系	5	日本測地系、世界測地系(日本測地系2000)の区分コードを記入する。日本測地系は「00」、世界測地系(日本測地系2000)は「01」を記入する。	5	日本測地系、世界測地系(JGD2000)、 世界測地系(JGD2011) の区分コードを記入する。日本測地系は「00」、世界測地系(JGD2000)は「01」、 世界測地系(JGD2011)は「02」 を記入する。
3-1 業務管理項目 対象水系路線コード	5	水系・路線コードをTECRIS の表より選択し記入する。複数の水系・路線にまたがる業務の場合、関連する水系・路線コードを記入する。当該情報が複数ある場合の記入方法は付属資料3 を参照のこと。該当がない場合は「99999」とする。 記入者：■(TECRIS から出力されるXML ファイルから取り込むことが可能な項目) 必要度：○(条件付必須)	5	テクリス入力システムの業務対象水系・路線等コードを記入する。 記入者：□(電子成果品作成者が記入する項目) 必要度：△(任意)
3-1 業務管理項目 施設名称	5	施設名称を記入する。	5	施設名称を記入する。 施設が複数存在する場合は、半角カンマで区切って記入する。
3-1 業務管理項目 発注者機関コード	6	発注者機関コードをTECRIS コード表から選択して記入する。	6	発注者機関コードを記入する。
3-1 業務管理項目 主な業務の内容	6	TECRIS コード表より、主な業務の内容を「1.調査設計」「2.地質調査」「3.測量」「4.その他」から選択し番号を記入する。 記入者：■(TECRIS から出力されるXML ファイルから取り込むことが可能な項目。)	6	主な業務の内容を「1.調査設計」「2.地質調査」「3.測量」「4.その他」から選択し番号を記入する。 記入者：□(電子成果品作成者が記入する項目)
3-1 業務管理項目 業務分野コード	6	業務分野コードをTECRIS コード表より選択し記入する。(複数記入可能) データ表現：半角英数字 文字数：7固定	6	業務分野コード表 より選択し記入する。(複数記入可能)

設計業務等の電子納品要領 【機械設備工事編】

項目(番号は改定前)	旧		新	
	頁	内容	頁	内容
3-1 業務管理項目 業務キーワード	6	TECRIS 業務キーワード集より選択し記入する。(複数記入可能) 文字数：10	6	業務キーワード集より選択し記入する。(複数記入可能) 文字数：20
表 3-1	6	TECRIS	6	テクリス
(1) 基礎事項	7	TECRIS(TEchnical Consulting Records Information Service：テクリス)	7	テクリス (TEchnical Consulting Records Information System)
1)「住所コード」(必須 記入項目)	7	TECRIS の業務対象地域コード表を参考に記入する。	7	下記 URL で公開されているコード表から選択し、記入する。 http://www.cals-ed.go.jp/cri_otherdoc/
(A) 対象水系路線コード	8	対象水系路線コードは、TECRIS の業務対象水系・路線等のコード表より選択し記入する。なお、対象路線コードを記入する場合は左右岸上下線コードを併せて記入する。	8	TECRIS 入力システム (Ver4.0) では対象水系路線コードの入力が必要であったが、平成 21 年 8 月リリースの Web 版コリンズ・テクリス登録システムでは、対象水系路線コードの入力の必要がなくなった。このため、対象水系路線コードの記入は不要とする。
(H) 境界座標(必須 記入項目)	9	「境界座標」は世界測地系(日本測地系 2000)に準拠する。	9	「境界座標」は世界測地系 (JGD2011) に準拠する。なお、境界座標を世界測地系 (JGD2000) の測地系で取得した場合には、JGD2011 の座標に変換する必要はない。
3-1 業務管理項目 【解説】	-		10	(3)発注者機関コード、業務分野コード、業務キーワードの記入 発注者機関コード、業務分野コード、業務キーワードは下記 URLで公開されている各コード表、キーワード集から選択して記入する。 http://www.cals-ed.go.jp/cri_otherdoc/
3-2 報告書管理項目 報告書オリジナルファイル名	10	文字数：12	11	文字数：13
4 ファイル形式	12	CAD 製図基準(案) 機械設備工事編 デジタル写真管理情報基準 (案) 測量成果電子納品要領(案)	13	CAD 製図基準 機械設備工事編 デジタル写真管理情報基準 測量成果電子納品要領

設計業務等の電子納品要領 【機械設備工事編】

項目(番号は改定前)	旧		新	
	頁	内容	頁	内容
4 ファイル形式	12	報告書ファイルは、設計図書に規定する成果品のうち報告書、数量計算書、設計計算書、概算工事費、施工計画書等の文章、表、図で構成される電子データファイルである。成果品を受領した発注者側においてもデータの再利用を行う場合があり、これに資するようなファイル形式である必要があることから、報告書ファイルはPDF形式で作成し、報告書オリジナルファイルも提出する。	13	報告書ファイルは、設計図書に規定する成果品のうち報告書、数量計算書、設計計算書、概算工事費、施工計画書等の文章、表、図で構成される電子データファイルである。成果品を受領した発注者側においてもデータの再利用を行う場合があり、これに資するようなファイル形式である必要があることから、報告書ファイルはPDF形式で作成し、報告書オリジナルファイルも提出する。 ただし、報告書オリジナルファイルがPDF形式の場合には、報告書オリジナルファイルの提出を省略できる。
4 ファイル形式	13	拡張子が4文字以上、ファイル間でリンクや階層をもった資料など、	14	ファイル間でリンクや階層をもった資料など、
6 ファイルの命名規則	15	・ファイル名8文字以内、拡張子3文字以内とする。	16	・ファイルはファイル名8文字以内、拡張子3文字以内とする。 報告書オリジナルファイルの拡張子は、4文字でもよい。
6 ファイルの命名規則 図 6-2	15	拡張子3文字以内	16	左記削除
(1) 共通規則	15	ファイル名の文字数は、半角（1バイト文字）で8文字以内、 拡張子3文字以内とする。	16	ファイル名の文字数は、半角（1バイト文字）で8文字以内、 拡張子3文字以内とする。 報告書オリジナルファイルの拡張子は、オリジナルファイル作成ソフト固有の拡張子とし、文字数は4文字でもよい。
7-1 電子媒体	17	<ul style="list-style-type: none"> ・上記の3条件を満たす電子媒体として、CD-R(一度しか書き込みができないもの)の使用を原則とする。 ・CD-Rの論理フォーマットは、ISO9660（レベル1）を原則とする ・基本的には、1枚のCD-Rに情報を格納する。 ・複数枚のCD-Rになる場合は、「7-3電子媒体が複数枚に渡る場合の処置」に従う。 ・基本的にはCD-Rの使用とするが、特定のシステムに依存しないフォーマット形式や再生ドライブの普及度を考慮して、DVD-Rも協議により可とする。 ・DVD-Rにデータを記録する（パソコンを使って記録する）際のファイルシステムの論理フォーマットは、UDF（UDF Bridge）とする。 	18	<ul style="list-style-type: none"> ・上記の3条件を満たす電子媒体として、CD-RまたはDVD-R(一度しか書き込みができないもの)の使用を原則とする。 ・基本的には、一枚の電子媒体に情報を格納する。 ・複数枚の電子媒体になる場合は、「7-3電子媒体が複数枚に渡る場合の処置」に従う。 ・基本的にはCD-Rの使用とするが、特定のシステムに依存しないフォーマット形式や再生ドライブの普及度を考慮して、DVD-Rも協議により可とする。 ・CD-Rの論理フォーマットは、Jolietを原則とする。 ・DVD-Rにデータを記録する（パソコンを使って記録する）際のファイルシステムの論理フォーマットは、UDF（UDF Bridge）とする。

設計業務等の電子納品要領 【機械設備工事編】

項目(番号は改定前)	旧		新	
	頁	内容	頁	内容
図 7-1 電子媒体への表記例	18	フォーマット形式：IS09660（レベル 1）	19	フォーマット形式： Joliet
図 7-2	19	REP01_01. PDF REPnn_mm. PDF	20	REP01_01. XXX REPnn_mm. XXX
(1)文字の定義	21	本要領(案)で用いている	22	本要領 で用いている
(1) 業務管理ファイル の記入例	付 2- 1	<基礎情報> <メディア番号>2</メディア番号> <メディア総枚数>3</メディア総枚数> <適用要領基準>機械201212-01</適用要領基準>	付 2- 1	<基礎情報> <メディア番号>2</メディア番号> <メディア総枚数>3</メディア総枚数> <適用要領基準>機械 201603-01 </適用要領基準>
(1) 業務管理ファイル の記入例	付 2- 1	<業務件名等> <業務実績システムバージョン番号>4.0</業務実績システムバージョン番号>	付 2- 1	<業務件名等> <業務実績システムバージョン番号> 5.0 </業務実績システムバージョン番号>
1) 業務管理ファイル の記入例	付 2- 1	<測地系>01</測地系>	付 2- 1	<測地系> 02 </測地系>
(1) 業務管理ファイル の記入例	付 2- 1	<水系-路線情報> <対象水系路線コード>19303</対象水系路線コード> <対象水系路線名>〇〇川</対象水系路線名>	付 2- 1	<水系-路線情報> <対象水系路線コード></対象水系路線コード> <対象水系路線名>〇〇川</対象水系路線名>
	付 2- 2	<発注者情報> <発注者機関コード>12017113</発注者機関コード> <発注者機関事務所名>国土交通省〇〇地方整備局△△事務所</発注者機関事務所名> </発注者情報>	付 2- 2	<発注者情報> <発注者機関コード> 02107999 </発注者機関コード> <発注者機関事務所名>国土交通省〇〇地方整備局△△事務所</発注者機関事務所名> </発注者情報>

設計業務等の電子納品要領 【機械設備工事編】

項目(番号は改定前)	旧		新	
	頁	内容	頁	内容
1) 住所コード	付 3- 1	TECRIS 登録業務は、着手時にそれぞれのシステムに記入した該当データを各管理項目に記入する。TECRIS の登録対象外の業務の場合は、下記 URL で公開されているコード表を参照し、該当するコードを記入する。 TECRIS 住所コード http://www.cals-ed.go.jp/calsec/tecris.htm	付 3- 1	住所コードは、下記 URL で公開されている住所コード表から選択し、記入する。 http://www.cals-ed.go.jp/cric_otherdoc/ 住所コードは、総務省が公開している全国地方公共団体コード 6 桁のうち第 6 桁の検査数字を除いた 5 桁の数字である。第 1 桁及び第 2 桁の 2 桁の番号が都道府県コード、第 3 桁、第 4 桁及び第 5 桁の 3 桁の番号が市区町村コードである。下記 URL で全国地方公共団体コードが公開されている。 総務省 全国地方公共団体コード http://www.soumu.go.jp/denshijiti/code.html
(2) 場所情報 1) 対象水系路線コード	付 3- 2	1) 対象水系路線コード 対象水系路線コードは、TECRIS に登録されたデータを記入する。TECRIS の登録対象外の業務の場合は、下記 URL で公開されている TECRIS コード表を参照して該当するコードを入力する。 TECRIS 業務対象水系・路線コード http://www.cals-ed.go.jp/calsec/tecris.htm http://www.ct.jacic.or.jp/tecris/manual01.html	付 3- 2	1) 対象水系路線名 対象水系路線名は、下記 URL で公開されている表を参照し、該当する水系名、路線名を記入する。 テクリス 対象水系・路線名称 http://ct.jacic.or.jp/corporation/known/xml/tecris.html

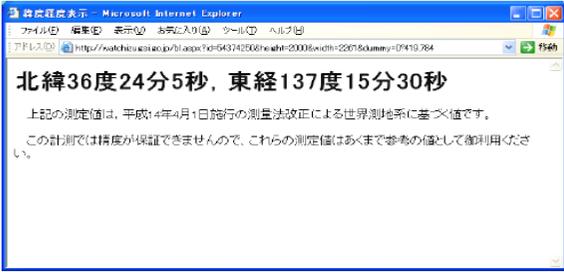
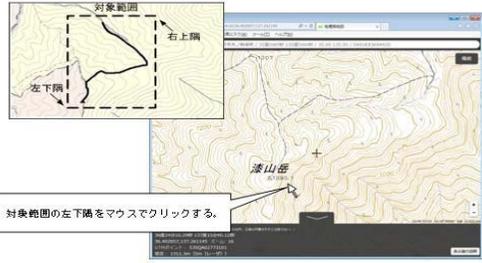
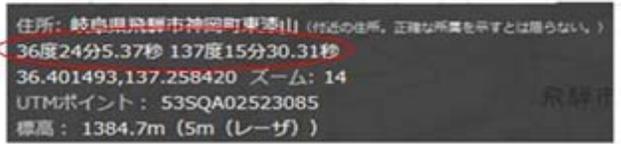
設計業務等の電子納品要領 【機械設備工事編】

項目(番号は改定前)	旧		新	
	頁	内容	頁	内容
2) 「対象水系路線コード」と「対象水系路線名」の XML 表記例	付 3-3	<ul style="list-style-type: none"> 対象地域が特定の水系に位置する場合 <水系-路線情報> <対象水系路線コード>19303</対象水系路線コード> <対象水系路線名>利根川水系</対象水系路線名> : </水系-路線情報>	付 3-3	<ul style="list-style-type: none"> 対象地域が特定の水系に位置する場合 <水系-路線情報> <対象水系路線コード></対象水系路線コード> <対象水系路線名>利根川水系</対象水系路線名> : </水系-路線情報> <ul style="list-style-type: none"> 対象地域が複数の路線に該当する場合 <水系-路線情報> <対象水系路線コード></対象水系路線コード> <対象水系路線名>津軽自動車道</対象水系路線名> : </水系-路線情報> <水系-路線情報> <対象水系路線コード></対象水系路線コード> <対象水系路線名>八戸・久慈自動車道</対象水系路線名> : </水系-路線情報>
6) 境界座標(緯度経度)	付 3-4	「境界座標」は世界測地系(日本測地系 2000)に準拠する。	付 3-4	「境界座標」は世界測地系(JGD2011)に準拠する。
(3)境界座標の調査方法(例)	付 3-5	2) 地図閲覧サービス(国土地理院)による境界座標の調査方法	付 3-5	2) 地理院地図(電子国土 Web)による境界座標の調査方法
1) 測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス	付 3-5	測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス http://psgsv.gsi.go.jp/koukyou/rect/index.html 	付 3-5	測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス http://psgsv2.gsi.go.jp/koukyou/rect/index.html 図を削除

設計業務等の電子納品要領 【機械設備工事編】

項目(番号は改定前)	旧		新	
	頁	内容	頁	内容
2) 地図閲覧サービス (国土地理院)による 境界座標の調査方法	付 3-8	2) 地図閲覧サービス(国土地理院)による境界座標の調査方法	付 3-6	2) 地理院地図(電子国土 Web)による境界座標の調査方法
2) 地図閲覧サービス (国土地理院)による 境界座標の調査方法	付 3-8	2. Web ブラウザより下記 URL のホームページに接続すると、「地図閲覧サービス ウォッチズ」が表示される。 http://watchizu.gsi.go.jp/ 3. 「検索画面」から、該当する地域をマウスで選択する。	付 3-6	2. Web ブラウザより下記 URL のホームページに接続すると、「地理院地図」が表示される http://maps.gsi.go.jp/ 3. 画面下部の  をクリックするか、地形図上任意点を右クリックし、コンテキストメニュー（住所、経緯度等の位置情報）を表示する。（その時点で表示されている地形図中心の位置情報が表示される。）
				 <p>図付 3-2 コンテキストメニューの表示</p>

設計業務等の電子納品要領 【機械設備工事編】

項目(番号は改定前)	旧	新	
	<p>頁</p> <p>内容</p>	<p>頁</p> <p>内容</p>	
	<p>4. 表示された地形図上で、1 で確認した対象範囲の左下隅を マウスでクリックする。</p>  <p>5. クリックした地点の緯度経度が表示される。表示された緯度を「南側境界座標緯度」、東経を「西側境界座標経度」に記入する。</p>  <p>6. 4、5で表示された緯度経度を「南側境界座標緯度」、「西側境界座標経度」に記入する。</p> <p style="text-align: center;">図付 3-5 緯度経度の表示</p>	<p>4. 適宜、拡大・縮小・スクロール等の操作を行い、該当する地域を表示し、表示された地形図上で、1 で確認した対象範囲の左下隅をマウスでクリックする。</p>  <p>5. クリックした地点の緯度経度が表示される。表示された緯度を「南側境界座標緯度」、経度を「西側境界座標経度」に記入する。(緯度、経度は度-分-秒単位で記入する。)</p>  <p>6. 4、5で表示された緯度経度を「南側境界座標緯度」、「西側境界座標経度」に記入する。</p>	

設計業務等の電子納品要領 【機械設備工事編】

項目(番号は改定前)	旧		新	
	頁	内容	頁	内容
境界座標の調査方法	8	http://watchizu.gsi.go.jp/ 3. 「検索画面」から、該当する地域をマウスで選択する。	7	http://maps.gsi.go.jp/ 3. 画面下部の をクリックするか、地形図上任意点を
4) 都道府県の東西南北端点と重心の経度 緯度の調査方法	付 3-11	(参照先：日本の東西南北端点の経度緯度) 国土地理院 http://www.gsi.go.jp/KOKUJYOHO/CENTER/center.htm	付 3-10	(参照先：日本の東西南北端点の経度緯度) 国土地理院 http://www.gsi.go.jp/KOKUJYOHO/center.htm